

# 浦添市在宅医療・介護連携支援センター



## うらっしー だより 7号

令和元年7月発行

「浦添市在宅医療・介護連携支援センターうらっしー」は、介護保険法における、地域支援事業の包括的支援事業として浦添市からの委託により平成27年4月1日より浦添市医師会に設置されており、今年で5年目を迎えます。高齢社会を迎え、医療と介護の両方を必要とする状態の高齢者が、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最期まで続けることができるような体制構築を目指しております。

浦添市の在宅医療・介護・福祉・保健に携わる機関や専門職の皆様ばかりでなく、広く市民の皆様にもその事業活動を通して、浦添市における地域包括ケアシステムの構築に貢献して参ります。

### ☆活動報告☆

## うらっしーホームページ紹介

<事業項目(ア)地域の医療・介護の資源の把握>

浦添市在宅医療・介護連携支援センターうらっしーでは、市民の医療・介護へのアクセスの向上を支援することや、医療・介護関係者の連携に必要な情報を提供し、照会先や協力依頼先を適切に選択、連絡できるようにすることを目的の1つとしてホームページを開設しています。**26種のカテゴリー別に浦添市内の在宅医療・介護関連事業サービスを提供している医療機関、事業所をお調べいただけます。**(中学校区別でも表示することができます。)

※浦添市内の在宅医療・介護関連事業サービスに特化した情報となります。浦添市内全医療機関をご覧になりたい場合は浦添市医師会 医療機関紹介をご確認ください。浦添市医師会 医療機関紹介:<http://uraishi.or.jp/modules/myalbum/>

その他、**医療的処置・管理及び受け入れ可能な利用者一覧**(訪問診療・訪問看護・有料老人ホーム)も掲載しております。ホームページに掲載してほしい項目や要望がありましたらお問い合わせください。



## 浦添市消防本部へのヒヤリング調査実施について



平成31年1月に有料老人ホーム、サービス付き高齢者住宅、訪問介護事業所を対象にアンケート調査を実施しました。アンケート調査の結果、浦添市消防本部との情報交換の場が必要と回答した事業所が77%(回収:30/45事業所)であった為、**浦添市消防本部へのヒヤリング調査を令和元年5月22日(水)**に実施しました。参加者は浦添市消防から4名、医療介護ネットワーク2025分科会Cから2名、当事業担当行政1名、連携コーディネーター2名の計9名。**浦添市内の介護関連施設**からの救急搬送の年間件数は年々増加傾向(平成29年度385件、平成30年度395件)にあるとのことや、救急搬送依頼の内容については発熱・意識障害、酸素呼吸障害・転倒や骨折で依頼が多く、規模が小さな施設は早い段階での救急要請の連絡が多い傾向にあることを把握することができました。救急対応時の手順方法の手引きや情報共有シート等は作成されていないが、今後作成を検討したいとの回答がありました。平成21年に介護関連施設向けに「老健施設等搬送引継ぎ書」を作成し現在も活用されていることも知りました。浦添市消防本部としても、緊急時の動線(駐車スペース、経路、処置に至るまで)が不十分な施設や把握していない施設の対応で困ったことがあると話しており、介護関係施設との情報交換会など行ってもよいとの返答でありました。今後、市内各病院(救急対応)へのヒヤリング調査及び介護関連施設側へ再度アンケートを実施し、情報交換会や研修会の開催方法について検討行ってきたいと思います。



お問い合わせ: 浦添市在宅医療・介護連携支援センターうらっしー

住所: 浦添市伊祖3-3-1-101(浦添市医師会事務局内)

電話: 098-894-2698 F A X: 098-874-2362



## 「スキンケアについて～褥瘡をつくらせないための日々の観察と除圧～」

日時:令和元年6月27日(木)14時～15時30分 <参加者:37名>

場所:介護老人保健施設アルカディア6階 コスモホール

主催:医療介護ネットワーク2025 分科会A・C 共催:浦添市医療・介護連携支援センターうらっしー

研修会  
の報告

講師:多田 惇(浦添総合病院形成外科)

石川 千香(浦添総合病院看護部皮膚・排泄ケア認定看護師)

森山 いづみ(理学療法士)



当日は37名の方々に参加して頂きました。キズの処置や褥瘡(床ずれ)かどうかの判断や褥瘡になった際の処置方法やつくらせない予防方法について医師・看護師・理学療法士からお話がありました。参加した方から「褥瘡は介護者がきちんと観察やケアをしていくと、初期段階で治すことができることを、改めてわかった。」「身近な疾患なので参考になった。」と仕事現場に活かされる内容の研修会となりました。

## 「命(ぬち)しるべ ～いのちの道標パンフレット～」のご紹介

この度、沖縄県医師会が沖縄県より委託を受けております「平成30年度沖縄県在宅医療・介護連携に関する市町村支援事業」の一環として、「命(ぬち)しるべ ～いのちの道標パンフレット～」を作成いたしましたのでご紹介いたします。

このパンフレットは、生活をするうえで他の人のお手伝いが必要になりつつある方(支援が必要な方)とそのご家族、また自分自身やご家族の介護に不安を感じている方に向け、いろいろな状況に応じて知っておくべき知識や相談先等を整理するとともに、**ご自身が望まれる医療や介護の内容を予め記入していただくための情報共有シート等を盛り込み、ご自身が自分らしく生活していくことについて考えるきっかけや、ご家族、医療・介護関係者と話し合うきっかけとしてご利用いただくことを想定し作成されております。**

なお、この「命(ぬち)しるべ ～いのちの道標パンフレット～」につきましては、うらっしー事務局(浦添市医師会)にて多少の在庫を保管しておりますので、必要な際はご一報頂けると幸いです。また、沖縄県医師会のホームページにも掲載され、ダウンロードできますのでそちらもご利用下さい。



沖縄県医師会ホームページ:[www.okinawa.med.or.jp/](http://www.okinawa.med.or.jp/)

(検索方法:「沖縄県医師会」→「在宅医療」→「意思決定支援パンフレット」)

※うらっしーホームページにも、リンクを掲載しております。

## うらそえ多職種親睦会2019

日時:令和元年5月31日(金)

場所:浦添市でだこホール・市民交流室

共催:浦添市医師会・医療介護ネットワーク2025・浦添市介護支援専門員協会・うらそえ介護福祉士会

### I部:講演会 15:00～ 参加者:125名

・沖縄大学 人文学部 准教授(トリニティ社長)の樋口耕太郎先生を講師にお招きし、『仕事に向き合う、人に向き合う、自分に向き合う』と題して講演して頂きました。参加した方からは「職場の部下に対する対応を考えさせられた」「参加していない職員にも聞いてほしいので職場でぜひ講演してほしい」などの声があり、大変有意義な研修会となりました。



### II部:親睦会 18:00～ 参加者:167名

・過去最大の参加人数となり、会場内では医療・介護・福祉・保健従事者の方々が交流を深めました。更に、名刺交換の時間を設けたことで、職場・職種の垣根を超え顔の見える関係づくりのきっかけをつくれました。目玉の福引抽選では一番の盛り上がりみせました。また、次年度も4社共催にて**令和2年6月12日(金)**開催いたします。今回参加したみなさま、参加できなかったみなさまも是非参加お待ちしております。



## 【研修会・講演会等のお知らせ】

### ○沖縄県医療介護連携セミナー(4回シリーズ) \*医療・介護関係者及び市町村担当者対象

主催:沖縄県・沖縄県医師会 後援:北部地区医師会・中部地区医師会・浦添市医師会・那覇市医師会・南部地区医師会・宮古地区医師会・八重山地区医師会

#### 第1回 介護のリーダーシップ

日時:8月24日(土)14時～18時 場所:沖縄県医師会館ホール

講師:秋本 可愛 先生(株式会社 join for kaigo 代表)

鈴木 大悟 先生(株式会社いきがいきクリエーション 介護福祉士)

#### 第2回 在宅医療の進化

日時:10月19日(土)14時～18時 場所:かでな文化センター

講師:佐々木 淳 先生(医療法人社団悠翔会 理事長)

泰川 恵吾 先生(医療法人鳥白川会 ドクターゴン診療所 理事長)

\*第3・4回の研修会のテーマ・講師については次回号にて掲載



詳しい内容、申込については、うらっしーホームページをご覧ください。

### ○希望が生まれる介護現場の環境作り \*介護に関わる全ての職種

日時:8月25日(日)14時～17時 場所:介護老人保健施設アルカディア6階

講師:山下 総司 先生(社会福祉法人ひだまり 理事)

受講料:2,000円

定員:30名

主催:うらそえ介護福祉士会

共催:浦添市介護人材サポート事業  
連絡協議会

後援:浦添市